科目名（Eng）	文学(Japanese　Literature)								
担当教員	高橋 圭介								
対象学年等	学科・専攻・学年		授業期間・区分・単位数・時間数				分野	形態	学修単位科目
	一般科目コミ	4	後期	選択	1	(30)	一般	A	
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(A-1)．(A-3)．								
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：1)．								
	JABEE基準1(1)との対応：(a)								
授業の概要と方針	①日本語をさまざまな角度から観察し、その特徴を探る。 ②日本語学の知見を言語系（ＳＰＩや日本語検定等）の問題に応用する。								
到達目標	①言葉への興味・関心を高める。 ②普段意識していない言語現象を客観的に分析する力を身に付ける。								

授業計画

	週	授業項目	理解すべき内容	事前学習
後期	16	日本語の音声１	言語学とは何か、母音と子音、調音法、調音点	普段行っている発音やアクセントの特徴を観察する。
	17	日本語の音声２	日本語のアクセント、イントネーション、音韻論	
	18	形態論１	形態素、異形態	具体例を考えてくる
	19	形態論２	語形成、小テスト１	小テストの準備。
	20	日本語の文字・表記１	日本語の文字・表記の特徴、現代仮名遣い	課題が出された場合は、しっかりと取り組むこと。
	21	日本語の文字・表記２	漢字、送り仮名の付け方、外来語の表記	
	22	意味論１	意味論とは、成分分析、意義素論、認知言語学	
	23	意味論２	語の意味関係、類義語、反義語	
	24	意味論３	比喩、多義語、慣用句	
	25	日本語の文法１	文の構造、文法カテゴリー、ヴォイス(受身など)	
	26	日本語の文法２	テンス（時間を表す表現）、小テスト２	小テストの準備。
	27	日本語の文法３	形式と意味の関係、その他	課題が出された場合は、しっかりと取り組むこと。
	28	社会言語学１	社会方言（男女差、年齢差）	
	29	社会言語学２	地域方言、敬語	
	30	テスト返却、日本語の歴史	テスト問題の解説、音韻・文字史、文法の変化	テスト問題を持参。

試験について	中間試験：共通科目試験日に50分の試験を実施する。期末試験：50分の試験を実施する。
評価方法	定期試験の成績を80%、小テスト・課題の成績を20%として評価する。
教科書	プリントを配布する。
参考書	授業でその都度紹介する。
関連科目	
履修上の注意	提示される概念等を正確に覚えることよりも、むしろ普段感じている（言葉に関する）素朴な疑問について積極的に考察する姿勢を重視する。